公共交通の課題

	ハード面	ソフト面
バス	バス停の位置が分かりづらかった。	時刻表が見づらい。
	段差が高くて乗り降りがしにくい。	マップの路線が分かりにくい。
	席の感覚が狭くて圧迫感がある	バスを降りてからの現在地にとまどう。
	雨天時、バス停でベンチに座っていたら濡れる。	公共交通とグーグルマップのリンクができていない。
	バス停間のアクセスがしづらい。	岡山駅前で、どのバスに乗ればよいか分かりづらい。
	岡山駅のバス乗り場が狭い。	バスの受付、運転手に乗り方を聞いても、説明不足で分かりにくい。
	バスの座席の段の高さが高く、お年寄りが足を上げないと座れない。	バスの中が暗い。
	バスの中が滑りやすい。	観光客対策が必要(定期観光バス)。
	後楽園行きのバスが藤原団地行きの1本しかなく不便。	路線、バス会社が多くて迷う。
	バス内の通路が狭い。	電車のように簡単に時刻表が調べられない。
	バリアフリーのバスが少ない。	目的地までの所要時間が分からない。
	バスタイヤの上の席は狭くて座りづらい。	遠くに行く場合、一度、岡山駅に戻らなければならない。
	バス停の待つ場所の幅が狭く危ない。	岡山城に行きにくい。
	岡山駅から路面電車の間を雨にぬれないようにして欲しい。	運転手の態度が悪い。
	乗降所が行き帰りで違う。	どこで降りたらいいのか分からない。
	行きたいところにバス停が無い(バス停の整備が不十分)。	岡山駅西口に行くバスと岡山駅東口に行くバスが分かりにくい。
	乗り心地が悪い。酔う。	
路面電車	駅から路面電車までの行き方が分かりづらい(特に一番街の中)。	路面電車のエリアがあまり知られていない。
	岡山駅のバス乗り場だけごちゃごちゃしていて移動しづらい。	路面電車の区間が短く、乗る必要が無いときがある。
	路面電車の床が雨で濡れていて滑りやすい。	
	路面電車の城下駅から後楽園まで歩くと意外と遠い。	
総合	大通り沿いに無い目的地に行く際に、交通手段に困る。	全体的に、時刻表、バス停の位置、案内板などが見づらい。
		バスと路面電車に関する情報が少ない。

公共交通の対策

	ハード面	ソフト面
バス	バス停の位置が分かるように、案内板を増やす。	時刻表を路線ごとに色分けする。
	バスの乗車口の床の高さを低くする。	次、来る時間を電光掲示板で表示する。
	席の間隔を広くする。	マップの線を、点線、破線などで種類を変える。
	バス停のベンチの位置、屋根の位置を変える(雨に濡れないように)。	マップの線を色分けする。
	バス乗り場を拡幅する。	バス停にマップを設置する。
	マット等、滑りにくい素材を使う。	岡山市オリジナルのバス案内アプリをつくる。
	バス停間の路線をつくる。	バス案内板の文字を大きくする。
	バリアフリーの車両を増やす。	バス案内板の文字を色分けする。
	観光地付近の停留所を分かりやすくする。	運転手に対する講習会を開く。
	バス車内に足拭きマットを設置する。	車内の照明を明るくする。
	高齢者が多いので、多くの人が座れるように待つ所をつくる。	旅行会社と提携して、ツアーに公共交通を使うように仕向ける。
	2列×2列シートにする。	路線の全停留所の載った時刻表をつくる。
	優先席部分だけでも横向きに統一し、通路を広くする。	
	表町で荷物を抱えて乗車する人もいるので、横向きシートのバスを導入する。	
路面電車	「路面電車乗り場」の表示をつくる。	路面電車のパンフレットを配り、電車のエリアをみんなに知ってもらう。
	電停間の距離を長くする。	
	電停と地下をつなげる。東口ロータリーと路面電車の連続性を確保する。	
総合		公共交通マップを冊子にする。エリアごとに分けて大きく記載する。
		英語版マップを作成。
		バスと路面電車の検索サイトがあれば便利。
		街中の公共交通マップや案内をもっと分かりやすく表示。
		公共交通の魅力をアップさせる「ゆるキャラ」を導入する。